

**非常通報装置で訓練 奈良・生駒市役所**

生駒市は、市役所への来庁者が刃物を持って暴れた場合などを想定し、庁舎内に県警本部につながる非常通報装置を設置し、24日、生駒署と合同で対応訓練を実施した。

市によると、装置は昨年、兵庫県の加古川市や宝塚市で来庁者が窓口で職員を刃物で刺したり、放火したりした事件を受け、2月に設置した。同様の装置は金融機関や学校には設置されているが、県内の自治体庁舎では初めてという。

庁舎1階の窓口近くの計4カ所に設置され、ボタンを押すと、県警本部通信指令課がインターホンを通じて状況を確認。必要に応じて生駒署から警察官が急行する。

訓練では、収税課を訪れた男が市税の徴収をめぐってトラブルになり、包丁を職員に突きつけたという想定で実施。職員は装置を使ったほか、刺又（さすまた）で男から自身や来庁者を守り、駆けつけた警察官が男を取り押さえた。

市総務課の担当者は「万が一の事態が起きたときには装置を活用し、来庁者や職員の安全をいち早く確保したい」と話していた。